

ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

◆ イノベーションのマネジメント ISO56000 シリーズと新事業開発のリアル ◆

【講演者】

<話題提供者>

[齊藤 直樹] 経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課

[河村 慎一] 株式会社ダイセル

[黒田 莉沙] 星和電機株式会社

<パネリスト>

[齊藤 直樹] 経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課

[河村 慎一] 株式会社ダイセル 知的財産センター 弁理士

[宝来 晃] 株式会社ダイセル 知的財産センター 弁理士

[黒田 莉沙] 星和電機株式会社 新事業開発担当

[田川 順一] 星和電機株式会社 新事業開発担当

【概要】

時代の流れの中で経済社会や産業構造は変化し、企業や社会はこうした変化への対応に迫られている。特に産業構造の変化が大きい状況では、経済社会を大きく変化させる変革すなわちイノベーションが必要とされる。イノベーション創造のメカニズム、方法論についてはさまざまな研究、知見の蓄積がある中、企業にイノベーションの実現を促す国際標準規格「イノベーション・マネジメントシステム (ISO56000 シリーズ) が策定されている。

本セッションでは、話題提供として、ISO56000 シリーズの策定、普及に携わる経済産業省・齊藤氏から ISO56000 シリーズ策定の背景、概要などをご紹介いただく。

また株式会社ダイセルの河村氏から、ISO56000 シリーズの社内での検討状況とともに、IP ランドスケープの実践とも絡めた、新規事業創出に向けた自社の取り組みをご紹介いただく。

星和電機株式会社の黒田氏からは、数年前に立ち上がった新規事業開発部門での活動を通して、既存事業の業務から新たに事業開発に挑戦することになった担当者が課題に感じる点やその点を乗り越えるための仮説をご紹介いただく。

パネルディスカッションでは、分科会幹事を交えて、イノベーション創出の要点は何か、イノベーションを創出する際に何が重要か、ISO56000 を自社のイノベーション創出活動にどのように活かすか、といった問いに対し、異なる立場からの様々な意見を引き出す。

*分科会幹事： 押久保正彦、小野 曜、遠山勉、右田俊介、溝口 督生

ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

◆ イノベーションのマネジメント ISO56000 シリーズと新事業開発のリアル ◆

【話題提供者・パネリスト】敬称略：五十音順

齊藤 直樹 (さいとう なおき)

経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課 専門職

(略歴) 2022年2月に当課に着任。研究開発型スタートアップ支援事業やオープンイノベーション推進事業等を担当。

河村 慎一 (かわむら しんいち)

株式会社ダイセル 知的財産センター、弁理士

(略歴) 複写機メーカー勤務を経て2013年株式会社ダイセル入社。現在、特許等の出願・権利化、IPランドスケープを实践するグループ長。

宝来 晃 (たからぎ あきら)

株式会社ダイセル 知的財産センター、弁理士、博士(工学)

(略歴) 1998年株式会社ダイセル入社。研究開発部門にて、電子材料の開発に従事。2019年より知的財産センター。現在IPランドスケープとISO56000シリーズの活用を企図した活動を展開中。

黒田 莉沙 (くろだ りさ)

星和電機株式会社 経営企画部 事業企画課

(略歴) 2015年星和電機株式会社入社。既存事業業務担当後、現在、当課にて新規事業開発を担当。

田川 順一 (たがわ じゅんいち)

星和電機株式会社 経営企画部 事業企画課

(略歴) 半導体業界にて技術及び技術マーケティングに従事。2019年星和電機株式会社入社。事業戦略本部にて新規事業開発や事業開発のステップ設計等を行う。行政アクセラレーションプログラムメンター4期目対応中。

以上